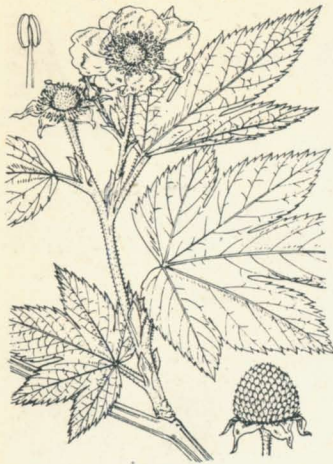


第 1372 圖

いばら科



かぢいちご (莓央蘼)
一名 たういちご・えどいちご
Rubus trifidus Thunb.

海邊ノ地ニ生ズル落葉ノ小灌木ナレドモ又通常人家ニ栽培セラル。高サ2m餘ニ達シ叢生シ莖粗ニシテ立チ多少横方ニ傾キ初メ刺アレドモ上部ハ無刺、圓柱形ニシテ綠色ヲ呈ス。葉ハ葉柄ヲ有シテ互生シ大形ニシテ其大ナル者ハ徑20cmニ及ブ者アリ、多クハ五裂稀ニ七裂シ、裂片ハ卵形、鋭頭、邊緣ハ重鋸齒ヲ有シ、基部ハ心臟形、兩面殆ド無毛ナレドモ下面ノ脈上ニ小髯毛ヲ密生ス。托葉ハ長橢圓形或ハ長披針形、鋭尖頭ナリ。花ハ側生セル新枝上ニ繖房狀聚繖花序ヲ成シテ三・五ノ白花ヲ着ケ、初夏ノ候ニ開ク。萼片五、三角狀披針形、内外面ニ髯毛密生ス。花瓣ハ廣倒卵形ニシテ五、萼片ヨリ長シ。多雄蕊、多雌蕊。核果ハ小形多數ニシテ相集リテ球形ヲ呈シ淡黃色ヲ帶ビ甘酸味ヲ有シ食スベシ。時ニ半重瓣ノ者 (var. semiplenus Makino) アリ、八重咲かぢいちごト云フ。和名構莓ハ葉形ニ基ク。唐莓ハ外來品ト誤認セシニ由リシ名。江戸莓ハ江戸ヨリ來リシいちごノ意ナリ。

第 1373 圖

いばら科



べにばないちご

Rubus vernus Nakai.

(=R. spectabilis subsp. vernus Focke.)

本州中部以北ノ高山ニ生ズル小灌木、高サ1m内外ニ達シ、莖ハ無毛、淡褐色ニシテ白色ヲ帶ビ、刺無シ。葉ハ互生有柄三出複葉、小葉ハ倒卵形・卵狀橢圓形或ハ菱狀橢圓形ニシテ鋭頭、圓底或ハ楔底、缺刻狀重鋸齒縁ヲ成シ、長サ3-6cm、幅2-4cmアリテ兩面ニ散生毛アリ、脈上ニハ特ニ髯毛ヲ生ズ、側生ノ二小葉ハ往々更ニ三裂スルコトアリ。托葉ハ篋狀長橢圓形。花ハ七八月ニ開キ、枝端ニ單生シ、花梗ハ有毛、徑2-3cm、萼片ハ五、卵狀三角形鋭頭ニシテ長サ10-15mm、外面ニ小髯毛ヲ生ズ。花瓣ハ五、紫紅色ニシテ倒卵狀橢圓形ヲ成シ、萼片ノ倍長アリ。核果ハ相集リテ卵狀球形ヲ呈シ赤黃色ニ熟シ、食用トスベシ。和名ハ紅花莓ノ意ナリ。

第 1374 圖

いばら科



もみちいちご

一名 きいちご・あはいちご・さがりいちご

Rubus palmatus Thunb.
forma coptophyllus Makino.
(=R. coptophyllus A. Gray.)

極メテ普通ニ山野ニ自生スル落葉小灌木。莖ハ高サ2m内外ニ達シ無毛ナレドモ刺多シ。葉ハ有柄互生シ、卵形、鋭尖頭、心臟底或ハ截形底、多クハ五尖裂ス、裂片ハ卵狀披針形、缺刻狀重鋸齒縁ヲ成シ、兩面殆ド無毛ナレドモ葉脈ニ沿テ細毛ヲ生ズ。托葉ハ線形。四五五月ノ候下部ニ葉ヲ有スル花莖ヲ前年枝ニ腋生シ頂ニ下向シテ開ケル一白花ヲ着ケ多數花、枝下ニ相連ル。花徑3cm許。萼片ハ橢圓狀披針形、鋭尖頭、縁部ニ腺毛ヲ有シ基部ニ柔毛アリ。花瓣ハ五片平開シ廣橢圓形。雄蕊ハ多數、白色ノ花絲ヲ有ス。核果ハ小ニシテ球形ニ相集リテ下垂シ黃色ニ熟シテ味佳ナリ。和名もみち莓ハ其葉形ニ由リシ稱呼ナリ、きいちごハ木苺并ニ黃莓ノ意ニシテ一面果實ノ色ニ基ツキ一面木本ナルニ基ツク、栗莓ハ果實ノ色ト形トニ基ツク、下り莓ハ其果實ノ下垂セル狀ニ由リシ名ナリ。もみちいちごハ關東地ニ見、ながはもみちいちご (R. palmatus Thunb. typica.) ハ關西ニ生ズレド此兩者ハ殆ド同一ニシテ之レヲ一種ト達觀スルモ敢テ不可ナシ、きいちご・あはいちご・さがりいちごハ此兩品ニ共通ノ俗名ナリ。漢名 懸鉤子 (誤用、是レびりょうどいちごノ名ナリ)

にかいちご

一名 ごぐわついちご

Rubus microphyllus L. fil.
(=R. incisus Thunb.)

諸國ノ山野ニ多キ落葉灌木ニシテ高サ30-50cm細クシテ直立シ、多クハ叢生シ上方ハ往々彎曲傾下シ、枝繁クシテ枝上ニハ前方ニ曲レル鋭刺多シ。葉ハ互生有柄、廣卵形、長サ3-5cm、多クハ三尖裂シ裂片ハ鈍頭、底部ハ心臟形ニシテ邊緣ニ不整ノ鋸齒アリ。表面ハ綠色ニシテ稍光澤アレドモ裏面ハ粉白、脈上ニ細刺ノ散生スルアレドモ兩面共ニ全ク無毛ナリ。春日新葉舒ブルヤ短枝端ニ一白花ヲ開キ上向ス。花ハ小形、徑1cm許アリテ細梗ヲ具ヘ、梗ニ微小ナル刺ヲ有ス。萼筒ハ球形、白霜ヲ帯ビテ平滑、裂片ハ狹ク、内面ニ白色ノ髯毛ヲ密生シ花後ニハ内方ニ向テ傾ク。花瓣ハ五片、橢圓形、平開ス。核果ハ球形ニ相集リテ赤熟シ其液汁ハ甘ケレドモ其核味ハ稍苦シ、故ニ苦莓ノ名アリ、又五月頃ニ熟スルニ由リ五月莓ト云フ。

第 1375 圖

いばら科



第 1376 圖

いばら科



くまいちご (蓬蘽?)

Rubus morifolius Sieb.

(=R. Wrightii A. Gray.)

山地ニ自生スル落葉ノ小灌木、莖ハ直立シ高サ1-2m、大ナル者ハ徑凡1.5cm許ニ達シ、毛少キモ刺多シ。葉ハ互生シ廣卵形ニシテ長サ6-10cm内外、三・五尖裂、裂片ハ鋭頭、邊緣ハ齒牙狀或ハ缺刻狀鋸齒ヲ成シ、質稍厚ク、兩面ハ無毛ナレドモ但シ葉脈上ニハ柔毛アリ。托葉ハ線形。花ハ白色ニシテ初夏ニ開キ枝端ニ一四アリテ短梗ヲ具ヘ小形ニシテ花々相接在ス。萼片ハ卵狀披針形、外面ハ柔毛、内面ニ天鵝絨様ノ細毛ヲ密生ス。花瓣ハ五片、卵形、萼片ヨリ長シ。多雄蕊アリ。核果ハ相集リテ球形ヲ成シ赤色ニ熟シ食フベシ。多形種ニシテ細分スレバ幾個カノ變種ト爲スベシ。和名熊莓ハ此種山中ニ生ズルコト多キヲ以テ熊ノ食フ莓ト云フ意ナリ。

くさいちご

一名 わせいちご・くわんすいちご・なべいちご

Rubus hirsutus Thunb.

(=R. Thunbergii Sieb. et Zucc.)

普通ニ山野ニ生ズル亞灌木ニシテ其葉多少冬ヲ經テ線ナリ、高サ20-60cm許。地下莖ハ長ク横走シテ諸處ニ直苗ヲ萌出シテ繁殖ス。莖ハ細長ニシテ弱ク直立或ハ斜傾シ腺毛密生シ刺散生ス。葉ハ互生シ奇數羽狀複葉、小葉ハ三・五、卵狀披針形或ハ卵狀橢圓形ニシテ鋭尖頭、鈍底又ハ圓底、邊緣ハ缺刻狀鋸齒ヲ有シ、兩面毛稍密生ス、長サ3-6cm、幅1.5-3cm。葉柄ハ往々長ク、基部ニ鉞狀ノ托葉アリ。花ハ前年枝ニ側生セル短枝端ニ單生シ、徑4cm内外アリテ白色ヲ呈ス。萼片ハ長披針形、先端長尾狀ヲ成シ、兩面ニ髯毛密布ス。花瓣ハ五片ニシテ平開シ倒卵狀橢圓形、長サ2cm内外、萼片ト稍同長ナリ。花後、核果ハ小形、多數相集リテ球形ヲ成シ赤色ニ熟シ食フベク、香味頗ル佳ナリ。和名草莓ハ草ニ生ルいちごノ意、早せ莓ハ他ヨリハ早期ニ熟スルいちごノ意、罐子莓、鍋莓ハ其實ノ形狀ニ基ツキシ名ニシテ共ニ其中央空洞ヲ成セル果實ヲ倒置セバ罐子或ハ鍋ノ形ヲ呈スレバナリ。漢名 蓬蘽 (誤用)

第 1377 圖

いばら科

